

平成 27 年度

地域力応援基金助成事業
活動報告書



平成 27 年度実施 地域力応援基金助成事業 活動報告書

もくじ

スタートアップ助成 実施団体一覧

■新規

団体名	事業名
東京ノルディックウォーキングクラブ	40代から始める健康づくり・仲間づくりノルディックウォーキングメソッド
茶道キャラバン喫茶去（きっさこ）	茶道の体験出前授業 区内茶室での茶会開催・出張茶会開催
学校支援地域本部サポート松仙	防災教室 つながりが命をすくう
一般社団法人木谷ウォーキング研究所	大田区六郷ポール de ウォーク学校
新名所「新馬込橋」活性化実行委員会	新名所「新馬込橋」活性化実行委員会事業 27年度「馬込の月見まつり」
バンダナクラブ	社会参加と認知症予防のための「絵本の読み聞かせ講座」
英会話同好会 in OTA (略称 EDO会)	入門からはじめる英会話サロン【EDO会】
EXPRESSION	「伝えたいことをきちんと伝える」ことの大切さと喜びを実感できるカリキュラム

■継続（平成 26 年度より実施）

団体名	事業名
おおもり子育て応援隊	子どもと子育て家族が楽しく暮らせる 大森のまちづくり
大田区障害者スポーツ倶楽部	スポーツにより障害者の日常生活を支援する事業
特定非営利活動法人 クリエイター支援機構	モノ作りの街「大田区」！ 作って使って楽しむモノ作り体験
ポスチュアウォーキングおおた	姿勢ウォーキング
大田区訪問介護事業者連絡会	おおた福祉フェス 2015
いきいきサロン・オアシスの会	地域で楽しい交流会【オアシスの会】

ステップアップ助成 実施団体一覧

■新規

団体名	事業名
大岡山北口商店街 振興組合自治会	大岡山駅前広場花壇整備
一般社団法人 田園調布グリーンコミュニティ	「インターバル速歩」いきいきトレーニング
特定非営利活動法人 障害平等研修フォーラム	大田区における障害の社会モデル理解普及活動 －障害平等研修編
劇団山の手事情社 地域振興グループ	「≪演劇的教養≫の活用による、区民のより豊かな精神生活実現事業」
特定非営利活動法人 読み聞かせネットワークヒッポ	大田区読書推進ボランティアスキルアップ養成事業
特定非営利活動法人 大田ウェルネスクラブ	地域での運動・スポーツ活動推進事業 (元気をはっけん健康体操事業)
一般社団法人レガートおおた	もうひとつの学びの場プロジェクト

■継続（平成 26 年度より実施）

団体名	事業名
特定非営利活動法人 ことばの道案内	大田区内ことばの道案内の情報作成・提供事業
大田ユネスコ協会	国際音楽会、写真展、麦わら細工、講演会を通じ、地域との交流を深める
特定非営利活動法人 大森まちづくりカフェ	商店街に地域放送局をつくろう！ 「地域アナウンサー養成プロジェクト」
メイジャ・マクレ大田運営委員会	地域の底力開発プロジェクト “三角ベースボール普及”編
女のサポートライン	女性や子どもが安全に安心して暮らせる地域づくり

平成 27 年度ジャンプアップ助成 実施団体一覧

■新規 テーマ：「大田区流“ちょこっと”おもてなし・まち歩きツアー」

団体名	事業名
大田・品川まちめぐりガイドの会	大田の観光の魅力発信、国際交流おもてなし観光まちづくり

■継続（平成 26 年度より実施）

和楽のつどい六郷	高齢者が安心して住めるまち六郷
----------	-----------------

■地域力応援基金への寄付について

こんにちは、東京ルディックウォーキングクラブです♡

事業名 40代から始める健康づくり・仲間づくりルディックウォーキング MIXT

助成額

34万円

◆地域での課題

地域活動を担う方の高齢化、それを取り巻く人々の結びつきの希薄化が都市部地域の問題となっている。また高齢化による医療費の増加が懸念されている今日、健康寿命を延ばし、地域で楽しく仲間作りができる活動が期待されている。



◆基金事業概要と達成した成果

40代から高齢の方まで男女を問わず運動不足、健康に関心のある方を対象とし、主にオーちゃんネット、ブログ、直接のお誘い等による申込み、参加があった。初心者講習会がメインで活動を実施。参加された方は普段の健康作りに取り入れたいとご自分のポールを購入されたり、毎回講習会に参加される方も増えてきた。少しずつ手ごたえを感じつつ活動中。(4月からの初心者講習会の参加延べ人数 83名)



12月19日(土) 初心者講習会
池上本門寺にて初心者講習会の様子

◆これからの取り組み

初心者講習会をメインに引き続き実施し、基盤作りを確実にしていきたいと考えている。ポールや心拍計など希望数20組がそろえば町会や他団体との連携がやりやすくなるので、コラボレーションイベントをやっていきたい。高齢者の方には広い視野で総合的に健康維持が可能となるようなアドバイス(他団体のウォーキングを紹介するなど)をしていきたい。



12月19日(土) 参加者集合写真
池上本門寺本堂前にて参加者の集合写真。この日は40~60歳代の男女10名が参加しました。

団体名 東京ルディックウォーキングクラブ

会員数 7人 設立 平成14年10月

団体の活動目的
活動実績

大田区と近隣地域の方々においてルディックウォーキングの普及を通し、体力の維持・向上、技術の習得、運動の習慣化を促し、またそれらに関する情報の発信、交流の場の創造を行い、地域の健康と明るい社会づくりに貢献していくことを目的としている。4月からの初心者講習会(月2回実施)の参加延べ人数83名。遠足も1回実施した。

日常に茶道体験を届けます！

事業名	茶道の体験出前授業 区内茶室での茶会開催・出張茶会開催（空港・地域のイベントなど）	助成額	40万円
-----	--	-----	------

◆地域での課題

区内にある茶室（池上梅園、下丸子区民プラザなど）を利用して、区民の方々が参加しやすい茶会を開催する。更に、2020年東京オリンピック開催に向け、大田区を訪れた外国の方に向けた茶道体験の場を提供する。

◆基金事業概要と達成した成果

〈概要〉

茶道の体験出前授業…夏休みわくわくスクールや日本の伝統文化の授業で区内・区外小学校に出向いて子供たちに茶道体験の場を提供。

区内茶室での茶会開催…池上梅園茶室では親子体験型茶会、敷居を低くした参加しやすい茶会を企画開催。

出張茶会…老人ホームや空港（国際線お祭り広場）洗足区民センターなど依頼があれば道具持参で先方のニーズに沿ったお茶席を企画提供。

〈成果〉

どの事業も一度開催したら必ずと言ってよいほどにリピーターが来てくださる。これは、茶道に興味があるが、なかなか敷居が高くて踏み込めなかった世界に一步踏み込めたという参加者の思いが率直に反映されていると思う。そして何より、基金を受けて実施できたことで、団体の金銭的負担は大幅に軽減された。

◆これからの取り組み

茶道を体験することで、子供たちには日本の良いところを体験してもらい、日々の生活の場に生かしたり、伝統文化を理解した日本人としてグローバルな社会で活躍してほしいと願っています。

「茶道キャラバン喫茶去」は茶道を決して敷居の高いものと捉えず、日常とは少し離れた空間でありながら、身近にあるホットステーション的役割をお届けする団体でありたいと思っています。

この活動を継続するため、イベントを依頼してくださる企業や団体（個人の方でも）からのお声掛けをお待ちしております。



in 池上梅園

今年初の試みです。小さいお子様連れの保護者の方も参加していただき、小学生の児童と共に茶道体験をしました。子育てをしているとお茶席なんて・・・と思っていたけれど今日は来られてよかったと喜んでおられました



神無月・師走 喫茶去のお茶会

10月と12月に池上梅園和室でお茶会を開催。神無月は薄茶席を2席。師走は濃茶を解説付きで体験していただき、薄茶はクリスマスの設えでカジュアルな雰囲気の中楽しんでいただきました。

団体名	茶道キャラバン喫茶去（きっさこ）		
会員数	7人	設立	平成24年4月
団体の活動目的 活動実績	〈活動目的〉 この会は、茶道を通し、日本文化を学びながら、茶道の持つ心安らぐ時間を共有し、物を大切に扱う心や、人を思いやる心の育成を図る。茶道の多面性を活かし、地域社会の文化および福祉の発展、社会教育の推進、子どもの健全育成、高齢者の健康維持などの公益増進に寄与することを目的とする。 〈活動実績〉別紙		

いつか 必ずやってくる その日の為に

事業名 防災教室 つながりが命をすくう

助成額 10万円

◆地域での課題

教育基本法の改正によって、平成23年より学校支援地域本部として活動を開始。しかしながら、本部自体の認知度が低く、「地域の中の学校の応援団」という役割が果たしにくい状況にある。又、ライフスタイルの変化によって「関わりや繋がり」の希薄な環境に置かれている子ども達は、豊かな体験や安定した心の成長を自然に身につける機会が少ない。



◆基金事業概要と達成した成果

学校・家庭・地域の繋がりを「防災」という切り口で再構築する事によって、子ども達を地域全体で育て、安心して支えあえる環境作りを行う。更に地域住民が高い関心と意欲を持って子どもに接する事によって、自己実現や生きがいにもなり、地域力の活性化・向上が期待できる。初年度の成果として、学校支援地域本部としての認知度が上がり、協力・連携・協働しやすい環境が整い始め、好循環を生み出し始めた。

「ドキドキ避難所体験」—宿泊型避難所体験—
平成27年8月8～9日、児童・学校・保護者・地域住民が一体となり、大田区内小学校では初めての、災害時を想定した本格的避難所体験を行いました。



「防災カルタ&ワークショップ」



講演会「災害時の食を考える」

◆これからの取り組み

防災教室開催を通して

- ①児童・保護者・地域の関心及びスキルの更なる向上を目指し、防災訓練への参加者を増加させる。
- ②子ども達のボランティア精神の普及を図る。
- ③地域との絆や繋がりをしっかりと育てる事によって、地域コミュニティ再生を図る。
- ④防災・教育といった地域での問題を共有し、解決への道と一緒に探せる団体像を目指す。



「親子で防災トレーニング」



携帯トイレの紹介

「つながりが命をすくう」
サポート松仙では「つながりが命をすくう」をテーマに
応急手当・食料備蓄・携帯トイレについて勉強しました。
通年で防災に関する活動を行いました。

団体名 大田区立松仙小学校 学校支援地域本部 サポート松仙

会員数 5人 設立 平成23年4月

団体の活動目的 活動実績

子ども達の教育活動を充実させる為、現状に於いて希薄になってしまっている学校・児童・保護者との協力体制を、更には地域住民との協力体制を再構築していく。地域住民が学校に積極的に関わる事によって、教育環境の質の向上と地域全体の教育力の向上を目指している。
今年度からは「防災」に力を入れる事によって、学校・保護者・地域の繋がりを再構築し、協力体制の整った教育環境作りを促していこうとしている。

ポールとともにいつも元気で生き生きと！

事業名

おおたポールdeウォーク学校&リーダー養成研修会

助成額

49万円

◆地域での課題

超高齢社会を迎え、シニアが医療や介護の世話にならずにいつまでもいきいきと暮らしていくためには、シニアがいつでも楽しく外出し仲間と語り合い学び合う場やツールが必要です。それに最適なポールを持って歩くポールdeウォークの指導者が不足しており、その環境整備が課題です。



◆基金事業概要と達成した成果

そこで、昨年の4月から9月迄の区のポールdeウォーク教室に応募された皆さんの事後研修と、今後各地でポールdeウォーク教室を開くためのリーダー養成研修会を10月から六郷地域力推進センターで開催しました。区内の介護や福祉現場の方々が応募下さり、「ポールを持って歩くと楽しい」を体得されるとともに、早速4月から老人いこいの家等でリーダーによる指導が始まります。

ポールを持って歩くと楽しい！
野球にバットとグローブ、サッカーにボールがあるように
ポールがあるからウォーキングが楽しくできます。



◆これからの取り組み

これまで受講されたシニアのポールdeウォーク学校と、ポールdeウォークのリーダー養成研修会を継続して行います。大田区内20カ所の地域包括支援センターの周りでポールdeウォーク教室が開催できるよう、自治会や町内会の皆様にもふるってリーダー研修を受けていただき、各地域で教室を開いていただき、仲間を増やしてまいります。



歩行実習・座学・ポールを持ったストレッチ
姿勢、ポールの着地を学び、美しい楽なポールを持ったエクスサイズもマスター。どうわかりやすく話すかの講義も。

団体名

一般社団法人木谷ウォーキング研究所

会員数

107人

設立

平成24年1月

団体の活動目的
活動実績

「いつでも どこでも だれでもできる」みんなのスポーツ・ウォーキングを楽しく普及するための科学的な研究を進め、その成果を広めるための諸活動を実施。これまで各地でポールウォーキング教室を開催してきたほか、60回にわたってウォーキング研究会・シンポジウム等を開催し、伊能忠敬・星と地球楽校や東京オリンピック・パラリンピック招致祈念ウォーク等を展開してきました。

「地域の次代を担う人材」を地域で育くむ

事業名

新名所新馬込橋活性化実行委員会事業
27年度「馬込の月見まつり」

助成額

22万円

◆地域での課題

【地域の課題】次世代が新しい発想で活躍できる機会を提供すること

自治会・町会に加入した40代～50代の人材（次世代）が、地域活動に対して、やりがいと熱意を持ち続けるために、新しい発想で活躍できる機会の提供が課題となっている。

◆基金事業概要と達成した成果

(1) 会場照明に、防災用品であるソーラーカンテラを利用。後日、町会備品として複数町会が購入するなど、十分な意識啓発効果を得た。

(2) 欄干の歩道の一部に、すすきと月見飾りを設置。特に高齢者に好評。

(3) 周辺の施設や学校、団体と連携して俳句やコーラスを実施。近隣団体間の相互理解が深まり、協力体制を構築できた。

◆これからの取り組み

(1) 近隣団体と連携を更に強化・拡充し、特に青少年の参加増を目指す。

(2) 外国人のもてなしのありかたを考えるうえで、様々な世代から意見を聞く土台づくりを行う。

(3) 事業には、防災を意識した取り組みを取り入れる。



←橋から馬込の月を臨む

当日は、穏やかな好天に恵まれました。開会式の後、近隣小学校児童の俳句や和太鼓、コーラスなどが披露されました。巴水の作品の上に月が昇ると、会場は歓声に包まれました。都心の幹線道路の上に架かる橋の上で、世代を超えて日本文化を楽しむ風流なひと時を楽しむことができました。



↑日本の伝統文化に親しむ —お月見飾り—

会場のお月見飾りです。右は、防災用カンテラでライトアップした様子です。優しい光が雰囲気をつくり、来場者の皆様にたいへん好評でした。また、防災の意識啓発にも役立ちました。

団体名

新名所「新馬込橋」活性化実行委員会

会員数

20人

設立

平成27年3月

団体の活動目的
活動実績

【目的】馬込の新名所、新馬込橋に訪れる国内外すべてのお客様に対し、「国際都市おおたにふさわしいおもてなし」ができる地域とすることを目的とする。

【27年度実績概要】馬込の月見まつり

・10月24日、地域の大人と次世代を担うこどもたちが共に集える行事として開催。日本古来の文化を楽しみながら学ぶ機会を提供した。

広げよう！ 絵本でつながる地域の輪

事業名 社会参加と認知症予防のための「絵本の読み聞かせ講座」 助成額 41万円

◆地域での課題

都市部における核家族化は大田区においても例外ではなく、世代間交流の機会創出としてはもちろん、情操教育や読書に親しみを持つきっかけ作りの一助としても、地域の保育施設等におけるシニアによる読み聞かせボランティアをより広域で導入することが課題でした。



◆基金事業概要と達成した成果

絵本の読み聞かせに関心のある大田区在住高齢者を対象に、社会参加と認知症予防を目指すプログラム事業「絵本の読み聞かせ講座」を開講し、当団体への新規メンバーの加入を目指しました。

講座参加者の出席率は90%を上回り、講座実施の前後に実施した認知機能検査（脳の元気度チェック）の結果、全参加者の認知機能が維持・向上しました。

ドキドキ・・・初めての読み聞かせ発表会
グループに分かれて、読み聞かせのパフォーマンス。絵本の読み込みはもちろん、小道具やプログラムにもこだわりました。

◆これからの取り組み

本講座修了生 20 名のうち、17 名が当団体に加入を決定しており、大田区内の保育施設等で読み聞かせボランティアとして活動することを目指しています。

今後は新たなメンバーとともに、大田区全体への活動拠点の拡大を続け、より一層地域社会に貢献できるようボランティア団体としての醸成を目指します。



3ヶ月の講座を修了、さあ始めよう地域デビュー！
お気に入りの絵本を手に記念撮影。「絵本って、こんなにも奥深いものだったんですね・・・」と、しみじみ語る参加者も。

団体名 バンダナクラブ

会員数 41人 設立 平成 23年 4月

団体の活動目的
活動実績

【活動目的】 地域の子どもたちへの絵本読み聞かせを通じて、その健やかな成長の一端を担うことを目的としています。また知的活動に協同して取り組むことで、認知症予防や孤立予防はもちろん、地域貢献という形で生きがい感や自己効力感を高めることも、併せて活動の目的としています。
【活動実績】 保育施設等における読み聞かせ活動 98回 勉強会など 32回（平成 26 年度）

ワンコインの英会話サロン♪ EDO会

事業名	ABCから始める大人のコミュニティ型英会話サロン【EDO会】	助成額	34万円
-----	--------------------------------	-----	------

◆地域での課題

地域社会での実践的英会話への顕在的及び潜在的ニーズがあり、それらのニーズに多くの団体が応えることができていないため。当会は社会的ニーズを充足する社会的企業としての使命を担い、ワンコインで気軽に英会話を始めるきっかけ作り、また地域の居場所づくりをする



◆基金事業概要と達成した成果

安価で“楽しく”をモットーに、初心者の方でも気軽に参加できる雰囲気づくりを心掛け、基本のA,B,Cから始めたい方、いつかは海外旅行で気軽に英語を話せるようになりたい方、等を対象に英会話の裾野を広げる活動をしています。 【EDO会が選ばれる理由】

- ① 1回500円だから安心
 - ② 大田区内11箇所で開催
 - ③ 入門・初級・中級 レベルに応じます
- ※1年間で参加者登録人数**600人**突破！！



フジテレビ取材、ケーブルTV取材
ネパール復興チャリティーイベント
羽田空港散策（GWイベント）

◆これからの取り組み

社会に対するインパクトを最大限にするため、自治会、町会などの地域団体、社会の諸問題に取り組んでいるNPO団体などのフォーカスグループとの双方向性の連携及び支援を行う。これらの活動を通して、大田区の国際化及びオリンピック・パラリンピック開催成功を草の根レベルで盛り上げていきます。



OTAふれあいフェスタ、サロン風景

入会金、年会費無料。予約なしの当日参加も承っております。是非、お気軽にお越しください！

【ボランティア募集】：インストラクターアシスタント、電話番、事務作業、広報業務など。《主に蒲田、石川台》

団体名	英会話同好会 in OTA（略称 EDO会）		
会員数	5人	設立	平成26年11月
団体の活動目的 活動実績	2020年オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国際化の機運が高まっています。大人を対象に英会話サロンを開催し、英会話普及だけでなく地域の活性化に繋げ、交流の場としても活動していくことを目指します。		

「伝えたいことをきちんと伝える」ことの大切さと喜びを実感出来るカリキュラム

事業名 シェイン・オン！サマーチャリティーコンサート

助成額 34万円

◆地域での課題

大田区在住の小中学生を中心に集まったメンバーで、朗読・歌・ダンスを通じて「表現力・発信力」を学ぶ。【ことばで奏でる音楽会】をはじめ、チャリティーコンサートや高齢者施設慰問コンサート等を開催。プロ表現者の指導で練習を重ね、プロと一緒に舞台に立つ！

「聴き手に伝える力のある表現法」を身につけ学校や職場他それぞれの地域へフィードバックし、活性化することを目的とする。

◆基金事業概要と達成した成果

【シェイン・オン！サマーチャリティーコンサート】（認定 NPO 法人シェインオンキッズ・Roots & Wings・EXPRESSION 主催）2015/8/29 銀座ヤマハホールに、「国際交流」と「社会貢献」を柱に大田区在住の小中学生メンバー

EXPRESSION KIDS で出演。NHK 教育番組『えいごであそぼ』エリックさんと英語の作品にもチャレンジした。小児がんの子ども達の書いた詩の朗読の練習を重ね、小児がんの子ども達の気持ちに寄り添うことが出来た。

◆これからの取り組み

2016 年度は、「表現力アップ“ワークショップ”を 2 回大田区の小中学校で開催！」無料公開“で大田区の子ども達が演劇・英語・歌唱・ダンス等においてプロの指導を受ける機会を設けます。今後、パイリಂಗルミュージカル開催を目標に大田区の英語に関わる団体と協力できるキッカケを作っていく。声に出して発信することの大切さや喜びを実感して頂き、その発信力や表現力を地域の活性化や学校や職場で積極的に役立て欲しい。



【シェイン・オン！サマーチャリティーコンサート 2015】
小児がんと闘う子ども達を支援する目的で、歌とダンス・小児がんの子供たちが書いた詩の朗読をはじめ、国際化を意識し英語の歌にチャレンジ！



大田区入新井第二小・入新井第四小・田園調布小・池雪小・馬込第二小・馬込第三小学校・大森第三中・大森第六中学校他都内外の小中学生 29 名が舞台に立ちました。2016 年度活動に向け新規メンバーも加わり現在 43 名！

団体名 EXPRESSION/EXPRESSION KIDS
エクスプレッション/エクスプレッション キッズ

会員数 7人 設立 2015年 1月

団体の活動目的
活動実績 大田区を中心にした都内外の「朗読・歌唱・ダンス・演劇」など表現することに関心のある老若男女が集まり、コンサートなど本番に向け練習を重ねる中でコミュニケーション能力を高め、プロの表現者とのコラボレーションを通じ、言葉を大切に表現することの大切さや喜びを実感でき、そのプロセスで身につけた表現力・発信力を地域の活性化や将来の社会に役立てる。

子育て家族が知り合いとなれるまちづくり

事業名 子どもと家族が楽しく暮らせる大森のまちづくり

助成額 30万円

◆地域での課題

地縁団体である「大森沢田西町会」と区民団体である「ふぼれん」との連携と協働で運営されている団体です。地域での子育て家族のつながりの希薄さの現状を見て「つながりあいの場」をつくることを目的の第1としました。



鷹取山ハイキング お揃いのTシャツで決めました

◆基金事業概要と達成した成果

5月「鷹取山ハイキング」
6月「わいわいフェスタブース出展」
7月「絵本とおはなしの会」
8月「夏休み1週間連続学習教室」
9月「地域みんなでカレー会」 応援
10月「おおもりの・おやこまつり」 応援
2月「音楽コンサート」 予定
どの事業も、ほぼ目標通り参加者を集めることができました。



わいわいフェスタのブース出展とボランティア参加

◆これからの取り組み

おおもりの子育て応援隊の活動が地域のなかで定着することで、28年4月から「学習支援教室」を1年間を通して毎週土曜日に開催することが決まりました。会場となる場所も確保できました。この取り組みは区民協働の助成金制度がベースとなって実現しました。さらに次年度に向けては親の組織化も視野に入れました。



配布チラシの一部

団体名 おおもりの子育て応援隊

会員数 20人 設立 平成25年9月

団体の活動目的
活動実績

平成25年9月に結成。26年度からスタートアップ助成金で活動を開始。毎月1回程度、ハイキング、わいわいフェスタへのブース出展、絵本とお話しの会、1週間連続夏休み学習教室、クリスマスコンサートなどを開催。地域のなかでの家族の結びつきを広げてきました。地域の小学校・児童施設全体でチラシ配布など、たくさんの応援を頂いています。

地域のみんなで楽しくスポーツ！

事業名 スポーツにより障害者の日常生活を支援する事業

助成額 13万円

◆地域での課題

訓練給付の受給期間終了後、多くの障害者は運動する機会がなく体力が低下しておりその事が障害者の社会参加、日常生活の充足度の向上を妨げる大きな要因となっている。更に障害者が気軽に参加できるスポーツ団体が非常に少ない事も運動機会の低下に寄与している。



◆基金事業概要と達成した成果

基金事業概要

- ・わくわく健康体操
- ・初心者スポーツ教室
- ・おおたけんこう大学

事業の成果

- ・団体の知名度の向上
- ・会員数の増加

わくわく健康体操

運動不足解消、体調管理、機能訓練に役立ちます。長時間立っているのが辛い人、立位が苦手な人もできる体操です。立位が苦手な人もできる体操です。



◆これからの取り組み

- ・わくわく健康体操、初心者スポーツ教室、おおたけんこう大学の継続
- ・来年度よりボッチャ、太極拳を取り組む競技に追加
- ・地域交流を目的としたイベントの実施



初心者スポーツ教室

健常者、障害者関係なく楽しみながらスポーツに取り組んでいます。取り組んでいる競技は主にバドミントン、卓球です。

団体名 大田区障害者スポーツ倶楽部

会員数 40人 設立 平成 22年10月

団体の活動目的 活動実績

活動目的：スポーツを通じて体調管理、体力保持等の自己管理能力の向上を推進
活動実績：平成 26 年度 24 回、平成 27 年度 31 回（平成 28 年 1 月末時点）健康体操、バドミントン、卓球等活動実施。

モノ作りから地域のミライを作る

事業名 モノ作りの街「大田区」！作って使って楽しむモノ作り体験

助成額 30万円

◆地域での課題

近年子どもになりたい職業でも「職人」や「クリエイター」「建築士」など手を使いモノを作ることに興味を持つ子どもが増えています。子どもの頃に体験したコトや周囲の環境というのは非常に影響が大きいと思います。

そこで大田区という地域の特性を十分知ってもらい、様々なモノ作りを体験し将来は地域を支える人になって欲しいという願いから企画いたしました。



「お盆だよ！家紋入りTシャツ作り体験」の様子

◆基金事業概要と達成した成果

昨年に引き続き、大田区という地域の特性を生かしたモノ作り体験を行うワークショップを開催。特に、シルクスクリーン印刷体験では、小さな子どもからお年寄りまで体験いただき好評でした。今年は昨年とは開催地域変えて開催。羽田の簡易宿泊所や京急蒲田駅付帯施設での開催(2016年2月予定)、他団体(大田区伝統工芸発展の会)とのコラボなども決定し、地域での活動の範囲を広げていくことができました。

開催ワークショップ

- 「お盆だよ！家紋入りTシャツ作り体験」
- 「オリジナル家紋を作ってTシャツプリント体験」
- 「オリジナル木製スマホスタンド制作」
- 「親子で作ろう UV レジンでアクセサリ&トレイ」
- 「NPO 区民活動フォーラムワークショップ出展」
- 「みんなで楽しい、プチモノ作り体験」(2/17開催予定)



印刷された家紋の数々



オリジナルキャラをプリント



「親子で作ろう UV レジンでアクセサリ&トレイ」の様子

◆これからの取り組み

本年度で助成事業は終了しますが、継続して開催を行う予定です。また、大田区だけでなく横浜地域でのワークショップ開催や、企業・他団体との連携などをさらに強化しモノ作りの楽しさや面白さをもっと多くの子供たちに体験してもらえるようにします。また、学校のサマースクールや地域イベントへの提案も引き続き行いたいと思います。



アクセサリートレイとアクセサリ



木製スマホスタンド制作の様子

団体名 特定非営利活動法人クリエイター支援機構

会員数 14人 設立 平成24年8月

団体の活動目的
活動実績

デザイナー・クリエイターを目指す若者や、既に働いている若手デザイナーに対して、さまざまな企業と協働することで就労に関する支援事業を行い、若年層の雇用状況改善を目標としています。さらに地域やコミュニティなどの広く一般市民に、デザインやモノ作りの面白さや楽しさを啓蒙する活動を行うことで、地域の経済活動活性化やまちづくり活動を推進したいと考えています。下町ポップスレー広報関連グラフィック制作、平成27年度NPOフォーラムポスター・チラシ制作等

カラダの姿勢は、ココロの姿勢

事業名 姿勢ウォーキング

助成額 30万円

◆地域での課題

- ① 中高年女性の運動不足からなる骨粗鬆症、生活習慣病、躓きによる転倒などを予防改善するために、楽しみながら体も心も美しく引き締められる健康講座「姿勢ウォーキング」で、多くの方に心身ともに健康になっていただきたいと思います。
- ② 核家族や独居が増える昨今、定期的に講座を開催することで、地域の方々の交流の場としての役割を担い、皆さんが地域で楽しく暮らせるよう支援したいと思います。



↑ (左) 講座「姿勢ウォーキング」では、姿勢を正して美しく歩くことを学びます。(右) 様々な体操で、体も心も気持ち良く伸ばします。

◆基金事業概要と達成した成果

- ① 区内在住の50歳以上の女性を対象とし、区内2か所で姿勢と歩き方が学べる「姿勢ウォーキング」講座を開催。参加者からは「姿勢が良くなり、気分も明るく、毎日が楽しい」という声をたくさん耳にします。
- ② 春・秋の野外ウォーキングや、クリスマス会への参加も定員を満たしていることから、団体内での交流も充実しているといえます。



↑ (右) エセナフェスタで一致団結。(左) ステージ発表も頑張りました。

◆これからの取り組み

- ・さわやかサポートなどの行政機関や、民間のサービスと連携協働して事業を拡大したいと思います。
- ・他区民活動団体と協働して、地域に根付いた活動をしていきたいと思います。
- ・団体内の勉強会を充実させ、技術的にも内面的にもすぐれた会員を増やし、地域のイベントや出張講座などで活躍したいと思います。



↑ (左) 紅葉ウォーキング。(右) クリスマスランチ会

団体名 ポスチュアウォーキングおおた

会員数 28人 設立 平成25年7月

団体の活動目的 活動実績

- ・2013年より「姿勢ウォーキング」開催。現在、区内2つの会場で実施。本年度会員数28名。
- ・エセナフェスタ参加(2013~2015)、エセナフォーラム参加(2015)
- ・大田区谷中町会婦人部と連携・協働しボランティア活動など(2013~2015)
- ・大田区新井宿ちとせ会と協働しボランティア活動(2013~2015)
- ・NPO区民フォーラム参加(2014・2015)
- ・大田・品川まちめぐりガイドの会と連携し、野外ウォーキング開催(2015春・秋)
- ・おおもり子ども交流センターと協働連携：子育てママレッスン、子供姿勢教室開催(2015)
- ・NPO大森コラボレーションと共催事業実施(2015)

介護・福祉でつながる大田！

事業名 おおた福祉フェス2015

助成額 30万円

◆地域での課題

23区の中でも特に高齢化、介護事業者数が多く慢性的な介護人材不足により、サービス事業者の運営が困難を極めている。介護にかかわる連絡会や事業者が協力して大田区の福祉を盛り上げ、積極的に福祉や介護の情報や魅力を発信していきたいと考えている。



松原区長による
開会の挨拶
開会セレモニーでは、松原区長にご挨拶を頂きました。

◆基金事業概要と達成した成果

大田区民に向けた、医療・介護・福祉の情報発信と、人材確保のための就職相談の2本柱でイベントを開催。ブース出展は前回の30社から40社に増え、医療機器や介護ロボットなどの展示に人が集まった。就職相談で就職が決まったのは10名と前年と変わらないものの、全体の来場者は前年を上回り、800名を越えた。関係者の無償ボランティアは100名を越え、事業者間の交流に寄与した。



演劇「ギンノキラク」

介護施設でのヘルパー奮闘記。100名以上の来場者に、介護の仕事の素晴らしさを伝えました。

◆これからの取り組み

おおた福祉フェスを継続して開催することで、地域包括ケアシステム構築に向けた区民全員参加での福祉のまちづくりに寄与したい。広く大田区民に対して介護・医療・福祉に関する情報発信を継続し理解を深めて頂ける活動を行っていきたくと考えている。また、サービスを提供する事業者の質の向上にも継続して取り組んでいきたい。



協賛企業による役立つ介護関連商品などの説明・サンプル配布等を行いました。実際に手に取り説明を受けることができるため多くの来場者に好評を頂きました。



就職相談ブース



団体名 大田区訪問介護事業者連絡会

会員数 90事業所 設立 平成22年4月

団体の
活動目的
活動実績

目的：大田区内訪問介護事業者の連携とスキルアップ
実績：定期的な連絡会・研修開催、ヘルパー向けスキルアップ研修の開催

地域で楽しい交流会♪ オアシスの会

事業名	みんなが寄り添う憩いの場、 生きがいのある人生を目指す事業	助成額	30万円
-----	----------------------------------	-----	------

◆地域での課題

高齢化が騒がれる昨今、今後10年後には、一人住まいの高齢者の割合が3割を超えると言われていています。地域の方々が気軽に集まれるような場がないので、コミュニケーションの場を設けて、心のケアや見守りを兼ねた活動をして無縁社会から有縁社会に変えていく、地域に貢献できる事業にしたいと考えています。



◆基金事業概要と達成した成果

毎月一回様々な分野の講師をお招きし、講演会や健康法体操教室、絵画教室、体験かっさ等々を行っています。各月の参加者人数は以下の通りです。

会食会、折り紙教室、講演会

参加者の多くは、毎月異なるイベントを楽しみにして下さっています。開催日は毎月1回、第4土曜日11:30～14:30まで。

平成27年4月16名。5月7名。
6月7名。7月10名。
8月13名。9月7名。
10月8名。11月9名。
12月8名。



◆これからの取り組み

地域高齢者が気軽に楽しめる、学べる、相談できる場として、調布地域にコミュニティーサロンのモデルケースを作ります。更に地域包括支援センターや町会、自治会と連携を取りながら、大田区全域に広げていきます。横の繋がりを大事にし、小さなコミュニティーを多く広げていくことを目指します。



カラオケ、作法講座、体験かっさ、一筆書教室

無料見学＆体験を随時受け付けております。当日、直接会場へ13時迄にお越しください！午後のイベントからご参加いただけます。

団体名	いきいきサロン・オアシスの会		
会員数	4人	設立	平成25年12月
団体の活動目的 活動実績	高齢者・一人住まいの方々が健康な生活を送り、また、生きがいを見出しコミュニケーションが図れる場を作りたいと考えました。具体的に健康面は食に関すること(配食サービスさざんかの会)、心のケア・生きがい作りは(財)尚徳学園とタイアップし活動を展開していきます。平成27年4～12月迄の全9回、参加者延べ人数27名。		

みんなで参加！楽しい花壇づくり

事業名 みんなで参加！楽しい大岡山駅前花壇づくり

助成額

50万円

◆地域での課題

平成19年3月に大岡山駅前広場が完成し、それに伴い花壇も整備されました。地域住民の皆さんから当自治会と商店街で地域のコミュニティーの場としてイベント実施の声が上がりました。大岡山さくら祭りと呼ばれ、地域が一体となった大岡山さくら祭りを開催したところ、今では住民参加型イベントとして一大イベントになっています。さくらの植樹や花壇整備、又、子供たちによる箱庭ガーデン制作・展示は、地域の皆さんの目を楽しませています。



◆基金事業概要と達成した成果

19年のイベント以来現在では地域の方々や千束地区の小学校・中学校・東京工業大学の学生さんが花壇整備に参加し総勢では最高で100名以上が参加し約1時間に亘り作業を行っています。花壇整備をとおり当地区の輪の広がりは安心・安全な街づくりとして地域活動に反映しています。

芝桜の植樹

大田区立大森第六中学校の生徒さん達が芝桜の植え込みと雑草抜き作業をして頂きました。



お母さんと一緒に花いじり

親子で参加して頂きました。お母さんが子供たちに花の説明をしています。

◆これからの取り組み

様々なイベントを通じて地域の皆さんへ駅前花壇整備の周知徹底を図り更なる参加者の増大を目指して行きたいと思っております。現在は当自治会メンバーで毎日草取りや駅前広場清掃作業を実施していますが、今後は地域の皆さんの輪を広げ毎日駅前広場環境整備を行っていきたく思います。

団体名 大岡山北口商店街振興組合自治会

会員数 165人

設立

昭和38年 4月

団体の活動目的
活動実績

千束地域の皆さんで千束地域の安心・安全な街づくり！
当自治会では長年に亘り地域とのコミュニティーを大切に育ててきました。この事から、地域住民の方々や小中学校・大学の方々とは強いきずなで結ばれています。お互いの共助の心は今でも健在です。特に駅前広場花壇整備事業は更なる地域の広がりを期待できると思っております。

歩き方を変えて筋力アップ!!

事業名

「インターバル速歩」いきいきトレーニング

助成額

300万円

◆地域での課題

大田区田園調布地区は、区内でも高齢化率が一番高く、高齢者医療費が増加しているため、「健康なシニア層」の拡大及び生活習慣病の改善、および新しいコミュニティ（仲間作りの場）の創出し、中高年が生甲斐を持ち、楽しく毎日を健康に送ることができる地域コミュニティの形成を目指している。



◆基金事業概要と達成した成果

3分置きに早歩きと普通歩きを交互に行う足腰の筋トレで、ダイエットはもちろん免疫力アップにも効果がある。ポータブル運動計測器「熟大メイト」を装着し、蓄積されたデータを信州大学のホストコンピューターに送り、分析、数値化されて、アドバイスとともに参加者にフィードバックされる。第1期の参加者のデータを見ると、総コレステロール、中性脂肪：改善した人は53.3%、体重、BMI、体脂肪率、腹囲について、改善した人は66.7%、体力アップした人は、72.7%という結果が出ている。



データ転送会の様子

月に一度のデータ転送会では、熟大メイトを装着して歩いたデータを転送し、グラフ化した個々のデータを検証する。また、ウォーキングフォームのチェック、医師による健康相談やストレッチや足のマッサージ等講師を招いた講座を行っている。

★週平均速歩時間60分以上トレーニングを行ったAさん(40代・女性)の結果
速歩量：83分(週2.5日・速歩30分)

	4月	10月	改善数値
体重 [kg]	58.0	56.0	-2.0
BMI [kg/m ²]	22.2	21.3	-0.9
体脂肪率 [%]	28.7	26.8	-1.9
腹囲測定長 [cm]	73.0	70.0	-3.0
中性脂肪 [mg/dl]	81.0	56.0	-25.0

★週平均速歩時間60分以上トレーニングを行ったBさん(70代・女性)の結果
速歩量：68分(週4.5日・速歩15分)

	4月	10月	改善数値
体重 [kg]	47.2	46.0	-1.2
BMI [kg/m ²]	22.0	21.4	-0.6
腹囲測定長 [cm]	81.0	75.0	-6.0
総コレステロール [mg/dl]	260.0	248.0	-12.0
LDLコレステロール [mg/dl]	168.0	156.0	-12.0
最大運動量 [kcal/min]	4.4	5.4	23%↑

◆これからの取り組み

インターバル速歩を通じた健康づくりは、専門スタッフのサポートに加えて、共に励む仲間があってこそ楽しく継続することができます。「一緒に歩こう会」を参加者に働きかけグループでの取組を支援する。そして、この活動を田園調布地区のみならず大田区内外に広めていきたい。



- ★インターバル速歩トレーニングは、体力&生活習慣病の改善に効果的である。
- ◆半年間のインターバル速歩を行った結果、
 - 1) 体重、体脂肪率、腹囲が減少した。
 - 2) 総コレステロールが減少した。
 - ◆割合計40分以上の速歩を行った人は、
 - 3) 体重、腹囲が減少した。
 - 4) 体力が増加した。

第1期「インターバル速歩」成果報告
半年間のデータではあるが、確実にインターバル速歩の成果が数字の上からも現れている。

団体名	一般社団法人田園調布グリーンコミュニティ		
会員数	820人	設立	平成21年4月
団体の活動目的 活動実績	大田区調布地区を活動基盤とした「総合型地域スポーツクラブ」。子供から大人までの多世代が楽しめる多種目のスポーツ環境をつくり、スポーツを通して地域のコミュニティづくりと活性化を図ることを活動の主目的としている。12種の常設プログラムの他、おおたスポーツ健康フェスタ、大田スポーツサミット、大田区民スポーツ祭り、田園調布グリーンフェスタ、ユニバーサル駅伝への参画、各種スポーツ大会、田グリ祭り、遠足の開催。大田区調布地区小・中学校の夏休みプログラムへの参加協力。		

障害のある人もない人も地域での共生を！

事業名 大田区における障害の社会モデル理解普及活動 - 障害平等研修編 -

助成額

293 万円

◆地域での課題

障害者差別解消法の施行時期が迫っており、地域における障害者の差別解消に関する啓発のニーズの掘り起こしが求められる。その際、日本が批准した、障害者権利条約に即した、社会モデルの視点で障害の問題を捉えるプログラム(障害平等研修 - DET など)が必要となる。



養成講座実施風景
合計 60 時間に及び DET ファシリテーターになるための研修が行われた。

◆基金事業概要と達成した成果

本事業により、大田区在住・在勤の障害当事者らを中心として、DET (障害平等研修) ファシリテーター養成講座を実施することが出来た。大田区は、日本随一の DET ファシリテーターがいる自治体となった。好評をいただき、学校や企業や市民団体などで DET を実施。大田区ですでに 10 回以上の DET が実施され当初計画の 2 倍以上である。



養成講座修了式
本事業により、DET ファシリテーターが 16 名養成された。ボランティアにも多数ご協力いただいた。

◆これからの取り組み

さらなる普及を図るために、企業や団体の研修担当者なども対象にした、100 人規模の DET 紹介セミナーを実施する予定である。(3 月 19 日)
ファシリテーター技量向上のためのフォローアップの勉強会を実施する。その際、全国のファシリテーターとの交流を図り、先駆的な大田区での DET 実践を他地域に波及させる。



DET 研修実施風景
対象と目的に合わせた研修プログラムを行う。

団体名 NPO 法人障害平等研修フォーラム

会員数 200 人 設立 平成 17 年 11 月 (任意団体)

団体の活動目的
活動実績

障害平等研修 (DET) 活動を通し、国内外の障害者の社会参加の促進に寄与することを目的とする。今年 7 月に NPO 法人取得。これまで 30 か国 300 名近くの DET ファシリテーター養成や DET に関する書籍の発行、DET の啓発を進めてきた。現在、日本国内では国内の 50 人ほどの障害当事者のファシリテーターとともに大田区をはじめ全国で DET を展開中である。

大田区で演劇ワークショップを開催

事業名

《演劇的教養》の活用による、区民のより豊かな精神生活実現事業

助成額

144 万円

◆地域での課題

演劇は、音楽や絵画や読書やスポーツと同様、人間の精神生活を豊かにしてくれる表現活動ですが、日本では、演劇に対する理解と教養が他の先進国に比べて著しく不足しています。

当劇団は、長年にわたって数多くの地域で実施してきた、さまざまな演劇ワークショップのノウハウを生かし、大きな潜在的需要があると思われる大田区を、都内および国内でも有数の舞台芸術の先進地域にしたいと考えています。

◆基金事業概要と達成した成果

対象別に演劇ワークショップを開催しました。具体的には、社会人、60 歳以上の女性、子供、教員、高齢者施設などです。（社会人、高齢者施設は事業終了。他は開催中、もしくはこれから開催予定です）

社会人対象の事業では、定員を上回る応募がありました。受講者のほとんどは初心者で「自分自身や、他人との関係について深く考え」、「日常押し隠していた感情に気づく」体験ができたと大変好評でした。高齢者を対象とした事業は、当劇団の公演を施設で上演できるよう再構成し、鑑賞してもらいました。前のめりに楽しんでいただき、さらに広げたいという気持ちになりました。

◆これからの取り組み

3 年後に区民出演の「大田区民劇」の製作・上演を目標に掲げ、その素地作りとして、広く多様なワークショップを実施したいと思います。

具体的には、小中学校を対象として、体験型のワークショップだけでなく、鑑賞型の事業を行いたいと思います。応募多数となった社会人対象と、60 歳以上の女性を対象とした体験型のワークショップ、また高齢者施設での公演実施も、引き続き行ないます。

また、劇団のアトリエを生かした、上演や教養講座を開催し、より多くの方に気軽に演劇に触れる機会を広げたいと思います。



社会人対象の「大人のための演劇ワークショップ」全 10 回開催。最終日は発表会をおこない、演じる楽しさを体感していただきました。写真は、創作した寸劇を上演している様子。



高齢者施設での「牡丹燈籠（ぼたんどうろう）」上演 デイサービスなどに訪問し、落語で有名な「牡丹燈籠」の一部を上演し、観ていただくプログラムです。

団体名

劇団山の手事情社 地域振興グループ

会員数

28 人

設立

平成 19 年 4 月

団体の活動目的
活動実績

【目的】本会は、演劇を通じて、より良い地域社会作りに関する活動を行うことにより、地域の発展と福祉・教育・環境の向上に寄与することを目的とする。

【実績】劇団主催のワークショップ（短期・中期）の実施。アトリエ見学会の実施。

学校図書館をもっと魅力的な空間に！！

事業名 大田区読書推進ボランティアスキルアップ養成事業

助成額

85 万円

◆地域での課題

- ・学校図書館の環境整備を行う図書ボランティアは専門知識を持つ指導者がなく、不安を抱えながら活動しており、当団体に多数の相談が寄せられていた。
- ・多くの学校図書館は、資料(本)が分類されず新旧混在しており、児童・生徒が自ら本を探し、親しむことが難しい状態であった。



公開講座 6/20(日)
「学校図書館の今、そしてこれから」
講師 岡村克志氏
(大田区立久が原小学校学校長)

◆基金事業概要と達成した成果

課題解決のために、人材育成を目指し、図書ボランティアのスキルアップを目的とした連続の養成講座を企画、実施した。学校図書館の定義から運営のノウハウ、資料整備の技術を身に付け、学校から信頼される図書ボランティアの育成を目指した。開催場所を学校図書館にし、図書館見学も実施すると、他校の活動が参考になり、自校の活動に活かすことができ、また回を重ねるごとに参加者同士の交流も深められた。

オリエンテーション
5/30(土)
大森第五小学校にて
紙芝居を使い、学校図書館のオリエンテーションを上演



◆これからの取り組み

2016 年度は、5 回連続講座、①学校図書館ボランティアスキルアップ講座②学校支援員をめざす人のためのスキルアップ講座を 2 つ開催する予定。学校図書館のキーパーソンとなる人材を育成することで、大田区が実施している施策に沿った安定したサポートを行うことができ、また、地域力を活かした大田区ならではの学校図書館支援が行えると期待している。

書架整理・装飾・展示講座 9/26(土)
相生小学校にて
図書ボランティアにできることを再確認！子どもたちが喜ぶ素敵装飾です。



団体名 NPO 法人読み聞かせネットワークヒッポ

会員数 正会員 20 人

設立

平成 17 年 4 月

団体の活動目的 活動実績

【活動目的】広く一般市民を対象に、読み聞かせやお話会等の子ども読書推進事業や読書推進ボランティア育成事業、学校図書館整備事業などを行い、家庭・地域・学校・行政・企業と連携しながら、読書を通じた地域社会の文化及び福祉の発展、社会教育の推進、子どもの健全育成などの公益の増進に寄与することを目的とする。

【活動実績】大田区地域力応援基金助成事業（スタートアップ助成、ステップアップ助成）、子どもゆめ基金事業、社会福祉協議会助成事業、福島県ふるさと・きずな維持・再生事業（被災地支援）、他自主事業として学校図書館支援事業を 10 校実施。

元気をはっけん健康体操事業

事業名 地域での運動・スポーツ活動推進事業

助成額 189万円

◆地域での課題

平成26年6月30日、大田区は「スポーツ健康都市宣言」を行いました。しかしながら、区民の異なるニーズに合った適当な運動施設と良質な運動プログラムはまだ地域に不足しています。また、運動をしたいがどのような事をしたら良いか分からない人も多数います。そのような区民の皆さんの為に、「元気をはっけん、健康体操事業」を立ち上げました。

◆基金事業概要と達成した成果

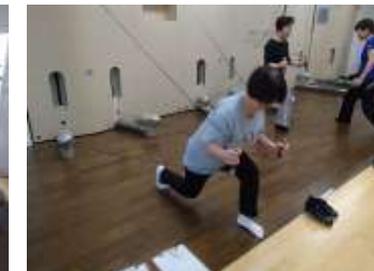
民間施設と同等の内容でのヨガ教室、ストレッチ&筋力トレーニング教室、リズム&ダンス教室、トレッキング教室といったプログラムを実施しました。また、「おおた健康・スポーツフェスタ」「区民スポーツまつり」に参画しました。加えて「おおた地域スポーツネットワーク」の運営にも関わり、12月末現在延べ680名を超える区民に運動・スポーツの機会を提供することができました。

◆これからの取り組み

今後も同様にプログラムを進めていきます。各プログラムは、会員の皆様の意見を聞きながら内容を更に充実させ、常に最新のプログラム内容としてゆきます。また、大田区地域力推進課、健康づくり課、国際都市・多文化共生推進課と協力しながら区民の健康、体力づくりに貢献してゆきたいと考えています。



大人気の「トレッキング教室」。東京近郊の山をゆっくりのんびり登ります。小学生の修学旅行じゃないんだから、はしゃぎ過ぎないようにしてくださいー！



なぜか痩せない「ストレッチ&筋トレ教室」。だって先生、ご飯が美味しくなるんだもん。まあ、良いでしょう。でも、腰痛や膝痛、肩のコリが改善しましたよ。



やみつきになる「リズム&ダンス教室」（写真左）。先生は、世界大会にも出場しています。スポーツ健康フェスタでは、ヨガ体験に会場一杯の人が集まってくれました（写真右）。

団体名 特定非営利活動法人 大田ウェルネスクラブ

会員数 70人 設立 平成22年1月

団体の活動目的
活動実績

総合型地域スポーツクラブとして、幼児から中高年、障害者などすべての人々に対する運動の機会の提供に関する事業を行い地域住民の健康増進、生活の質の向上に寄与することが団体の活動目的である。
プログラム：リズム&ダンス教室；ストレッチ&筋トレ教室；トレッキング教室；テニス教室；ヨガ教室
その他、大田区スポーツ健康フェスタ、大田区民スポーツまつり、トップアスリート派遣事業、おおた地域スポーツクラブネットワーク運営等、区におけるスポーツ推進事業に協力。

視覚障害者のためのことばによる地図作成・提供

事業名 大田区内ことばの道案内の情報作成・提供事業

助成額

129万円

◆地域での課題

視覚障害者は地図や画像の認識が困難です。大田区内のことばの道案内作成状況は、この事業開始前は、大田区役所他9件が公開されていませんでした。そんな現況の中、視覚障害者が比較的良好に利用する施設として、昨年開始し、2015年4月から公開したところ、多くのアクセスがあります。特に区民ホールアプリコなどは、月平均1000件という、貴重な情報提供となっています。



調査先選定会議及び説明会会場
大田区視力障害者福祉協会・NPO 法人大身連打ち合わせ風景
ことばの道案内説明会、終了後現地実体験を行いました

◆基金事業概要と達成した成果

昨年からの協働事業に於いて、大田区視力障害者福祉協会及び大田区内のボランティア参加者の協力により、25施設78ルート[※]の往復原稿を作成、提供いたします。
大田区視力障害者福祉協会参加者延べ 18名
大田区内ボランティア 参加者延べ 23名
(2015年12月20日現在)



◆これからの取り組み

今年度の事業では、図書館や体育館の他、病院などへの道案内作成も取組しております。その他、高齢者マッサージに視覚障害の方が、訪問するにあたり、ことばの情報がなかった、ゆうゆうくらぶへの道案内作成も開始しました。2020年に向けては、交通機関等の情報作成の要望もあります。



現地調査及原稿入力風景
視覚しょうがい者当事者を含め、最低3人一チームにて現地を調査し、その後、入力作業を行い、その日の原稿を完成させます。
途中、点字ブロック上に自転車等があり視覚障害者にとってはぶつかったり、つまずいたり大変危険です。是非このような事のないようにお願いします。

団体名 認定NPO法人 ことばの道案内

会員数 52人 設立 平成16年5月

団体の活動目的
活動実績

- ・ことばの道案内の制作及び啓発普及活動に関する事業を行うとともに音声に対応したインターネット環境を整備する。
- ・視覚しょうがい者及び視力の衰えた高齢者等の外出とその後の社会参加を支援する。
- ・社会福祉の増進と情報化社会の発展に寄与することを目的に活動しています。
- ・ことばによる道案内を、現在2077ルートの道案内として、WEBサイトにて公開中。現在サイトは、月5万件のアクセスがあります。

商店街が元気になるまちづくり

事業名	商店街に地域放送局を作ろう！ 地域アナウンサー養成プロジェクト	助成額	140 万円
-----	------------------------------------	-----	--------

◆地域での課題

近年、商店街はその活性化に苦慮しており、これまでのアーケード整備などの施設整備の取り組みから、新たな、持続的な活性化の取り組みを模索しています。2013 年度、当法人事務所を山王 Coco 商店街（商店街事務所とシェア）に引っ越すにあたり、新柳会商店街振興組合の皆様からは、当法人の活動と連携して、商店街の活性化に協力して欲しいとの要望をいただきました。

当法人としても、当法人のスキルやノウハウ、ネットワークを活かして商店街の活性化に寄与したいと考えました。

◆基金事業概要と達成した成果

今年度は継続事業であったため、初年度の養成講座カリキュラムを参考に、一部を当法人スタッフが講師を務めるワークショップ形式とし、より実践的な内容にすることができました。養成講座修了後は希望者を募り、DJ イベントの企画・構成を自分たちで考え、商店街に提案、開催することができました。店主のみならず、通行の方からも好評をいただき、1 月末にも DJ イベントの依頼をいただくなど、継続実施が期待されています。



話すことが楽しくなる養成講座
身近なことを人に伝えることから、レポーターとして実況中継をすることまで、実践的に話す機会を増やすことで、自信を持って楽しく話すことができるようになった受講生の様子。

◆これからの取り組み

養成講座修了生を中心に、引き続き商店街と地域の方々と連携を取りながら、継続的な放送実施を目指していきます。また、地域アナウンサーとなった方たちの活躍の場が広がるよう、ネットワークを活かした取組みを検討していきます。



山王ココ商店街 DJ イベント
山王ココ商店街グルメ紹介を企画、八百屋さんの取材をした内容を実演を交えて放送している様子。

団体名	特定非営利活動法人 大森まちづくりカフェ		
会員数	80 人	設立	平成 16 年 4 月
団体の活動目的 活動実績	私たちは、大森を中心とした地域において、地域のさまざまな「魅力」を、保全、発見、創造し、それらに関する情報の発信、交流・学習の場の創造、活動・事業の支援などを通じて、地域のよりよい生活文化、生活空間の創造と、地域の活性化に寄与することを目的とする NPO 法人です。地域の魅力を発見するまちあるき、地域の魅力を創造するイベント開催、情報紙「大森まちづくりカフェ」の発行、まちづくりの担い手の育成、デザインや企画等の支援活動を実施しています。		

世代を超えた地域交流を三角ベースボールで！

事業名 地域の底力開発プロジェクト“三角ベースボール普及編” 助成額 157 万円

◆地域での課題

高齢者がいつまでも元気で、なおかつ「地域社会の社会資源＝地域力」となる場面の創出
子どもたちの運動能力のアンバランスの解消や、不足しがちな地域に暮らす様々な人たちとの交流場面の創出

◆基金事業概要と達成した成果

場所、人数、参加者の属性などがどんな状況でも創意工夫することにより誰でも遊ぶことのできる「三角ベースボール」の普及活動を、児童館や放課後支援施設にて実施。おおた三角ベースボールフェスタ 2016 の開催などを行う。児童館、放課後支援施設からの要請も増え、昨年以上に練習会を実施する事ができ、三角ベースボール認知度が高まった。

◆これからの取り組み

地域総合型スポーツクラブとして事業を実施していかれるように、大田区内のスポーツ関係の NPO や、他地域での先行実施団体との連携や協働を深め、児童館以外でも三角ベースボールが楽しめる機会をつくる。三角ボールフェスタを恒例事業として実施していく。

三角ベースボール体験会

未就学のお子さんもお父さんもお母さんも一緒に三角ベースボールを楽しみました。



ゲストに、プロ野球 OB 高橋直樹さんを迎え、キャッチボール指導などいただきました。



団体名 メイジャ・マクレ大田運営委員会

会員数 86 人 設立 平成 15 年 7 月

団体の活動目的 活動実績

当団体は、中高年の健康増進のために考案された 60 歳以上（女性 30 歳以上）を対象とした「健康スローピッチソフトボール」を通して、健康・生きがい・仲間づくり・国際交流・社会貢献を図ることを目的とする。
全国大会への参加、ユニバーサルスポーツ普及活動も行っている。

暴力NO！安全安心な大田の地域を

事業名 女性や子どもが安全に安心して暮らせる地域づくりを

助成額

69万円

◆地域での課題

女性や子どもが安全・安心に暮らすには、DVや性暴力などへの理解を深め、被害者への差別・偏見をなくすための啓発活動が重要です。特に若い時からの教育は急務です。行政や他団体、教育現場と協力して「デートDV」への予防啓発教育を推進していくため、今年度は高校だけでなく中学校でも取り組みます。



◆基金事業概要と達成した成果

- ・大田区の後援を受けて性暴力への理解を深めるため『ストーカー問題』講演会を開催。
 - ・区内都立高校・中学校での生徒を対象としたデートDV予防講座の実施。
 - ・「男女共同参画おおた」との協働で、「デートDVリーフレット」を作成し、配布。
- これらを活用して啓発に取り組む。

小早川明子さん講演会（9月12日・エセナおおた）

ストーカー問題とは何か。なぜ殺人にまでエスカレートしてしまうのか。ストーカー問題と格闘して来た講師と一緒に、その課題について考えました。

◆これからの取り組み

- ・講演会の報告書を作成し、「ストーカー問題」の重要性を広める。
- ・デートDVのリーフレットを活用し、意識向上をはかる。
- ・デートDV予防講座、アンケートの結果等の報告書を活用し、教育現場に生かしていく。



デートDV予防講座 7月8日
（つばさ総合高等学校 つばさホール）
講師 西山さつきさん（レジリエンス）

団体名 女のサポートライン

会員数 10人 設立 1998年5月

団体の活動目的
活動実績 女性が抱えているさまざまな悩みや問題について電話相談をうけ、女性自身が解決していく力を獲得するよう支援する。また、女性や全ての人権が尊重される社会をめざし、そのための活動を推進する。

大田区流“ちょこっと”おもてなしツアー

事業名 大田の観光の魅力発信、国際交流おもてなし観光まちづくり

助成額

◆地域での課題

大田区は多彩な観光資源に恵まれているにもかかわらず、それが活かされていない。

地域の観光資源を掘り起し、さらなるPRが必要で、また外国人にとって魅力的な観光資源は何かを視点を変えて掘り下げる必要がある。そのためには

1. 地域の商店街連合会との交流、協力
2. 地域の町会、自治会との交流、協力
3. 18地区の特別出張所との連携、協働等の課題を解決していかなければならない



羽田空港見学と日本文化体験

◆基金事業概要と達成した成果

外国人に魅力ある「“ちょこっと”おもてなし」を伴う2時間程度の「まちあるき」ガイドを企画。

本年度6コースを設定し、10月末までに以下の3コースを実施。

1. 羽田国際空港見学と日本文化体験
(浴衣を着て記念撮影、盆踊り体験、大道芸見学・体験、お手玉・折り紙・けん玉等の昔あそび体験)
2. 洗足池と秋祭り
(神楽・お囃子見学、金魚すくい・射的・輪投げ等の露店体験、鉛細工見学・ゲット等)
3. 羽田散歩と日本文化体験
(千代紙小箱づくり体験、お手玉・折り紙・けん玉等の昔あそび体験)

3回の参加者は合計102名

以上3回の成果としては、アンケートの結果、

「ツアー全体の感想」、「ガイドの説明・案内」、「日本文化体験について」は、それぞれ73%の参加者が「大変満足」と概ね好評であった。



洗足池と秋祭り

◆これからの取り組み

外国人観光客に対するガイドについては、来年3月まで6回実施し、ほぼノウハウは得られると思うので、外国人が参加する場合の対応は十分できると確信する。外国人観光客のみを対象として集客する観光ツアーを企画するには現在の当会の現状を考えると人的にも資金的にも困難と考える。日本人を対象とするツアーの中に外国人がいる場合の対応は可能である。

大田区内の観光スポットを見た場合、単なる観光だけでは外国人観光客を集客するツアーを組むことは現状では極めて難しい。コースに外国人を惹き付けるおもてなし、イベント等がないと集客は困難である。

過去養成講座を受講した外国語観光ボランティアの方々が組織化され、今後活動されるとのことで、その方たちに実施していただく方がベターと考える。その方たちとのコラボであれば、当会も協力を惜しまない。



羽田散歩と日本文化体験

団体名 大田・品川まちめぐりガイドの会

会員数 47人 設立 平成23年7月

目的：大田区内、品川区内の名所(観光スポット)並びにその街をガイドすることにより、多くの人々に両区の魅力を知ってもらい、両区への観光を勧誘する。

実績：

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年(1~10月)
自主ガイド	20回、136人	30回、708人、	24回、567人、	39回、1,312人、
受注ガイド	17回、553人	26回、985人、	35回、1,745人、	61回、3,570人
合計	57回、689人	56回、1,693人、	59回、2,312人、	100回、4,882人

団体の活動目的
活動実績

安心して暮らせる地域をめざして！

事業名 高齢者が安心して住めるまち六郷

助成額 31 万円

◆地域での課題

現在、都民の4人に一人は高齢者です。六郷地区でも、一人暮らしの高齢者は、年々増加しており、高齢者の生きがいがづくり、健康増進や孤立化防止、災害時における支援など、高齢者への支援は喫緊の課題となっています。一方、支援の担い手である自治会・町会は、役員の高齢化や若い世代の参加が少ないことにより、人手の確保が困難な状況もあります。

◆基金事業概要と達成した成果

平成 27 年度は、当団体に参加している4自治会・町会において災害時要援護者の実態調査を行いました。対象者と直接面接し、回答をもらったことで、名簿作成における課題、対象者の意識の問題、自治会・町会ができる対応など災害時要援護者対策の課題を明確とすることができました。

また、「ふれあいサロン」を開催し、高齢者との交流を図ることで、支援する側とされる側が互いに顔の見える関係づくりを行いました。



災害弱者（要援護者）支援勉強会（各自治会・町会の取組発表）
災害弱者（要援護者）支援について、各自治会・町会で行っている取組の発表を行いました。

◆これからの取り組み

今回の調査により、対象者の支援される側の考え方や希望の有無など名簿と実態が相違している部分が把握できました。この調査結果を、今後の対策を検討する材料として、地域における災害時要援護者への支援の仕組みづくりに反映していきます。また、今回の調査結果をもとに、各関係機関との連携強化を図りながら、今後、さらに災害時要援護者対策の充実に取り組んでいきます。



災害弱者（要援護者）支援勉強会（和楽のつどい六郷の取組発表）
今回の実態調査の結果を、調査を実施した4自治会・町会からそれぞれ発表しました。

団体名 和楽のつどい六郷

会員数 4町会（8,870）人

設立 平成 26 年 7 月

団体の活動目的
活動実績

【和楽のつどい六郷】

六郷地区自治会連合会に加入している自治会・町会が、地域的な協働連携活動を行い、良好な地域社会の維持及び形成を資することを目的としています。活動実績は、通常、自治会・町会（防災、防犯、福祉、衛生、まちづくりなど）活動を担い、事業拡大と地域の向上を図っています。

※現在の参加町会—西六郷二丁目、南六郷一丁目、南六郷二丁目団地、東六郷一丁目



地域力応援基金への ご寄付のお願い



様々な地域の課題解決のために活かされています！



地域力応援基金は、区民や事業者の皆様からの寄付金を積立て、区内で活動するボランティア団体やNPO、地縁団体等が実施する公益的な事業を支える新しい基金です。

1 寄付金の活用

地域力応援基金へのご寄付は、「地域力応援基金助成事業」として大田区の財産となるべき地域力の発掘・活性化をすすめるために活用させていただいております。基金を活用して実施した事業は区ホームページで公開しております。是非ご覧ください。

2 寄付の方法（寄付される場合には以下の3つの方法があります）

(1) 納付書によりお近くの金融機関で振り込む

寄付申込書を下記送付先まで送付してください。後日納付書をお送りしますので金融機関窓口でお振込みください。なお、手数料はかかりません。

(2) 現金書留で郵送する

寄付申込書を同封の上、下記送付先まで送付してください。郵送料等は恐縮ですが、お客様でご負担ください。

(3) 直接現金をお持ちいただく

大田区役所6階地域力推進課にお越しください。寄付申込書はその場でご記入いただきます。

3 寄付申込書の入手方法

寄付をされる場合には寄付申込書が必要です。寄付申込書が必要な方は、大田区HPからダウンロードするか、下記問合せ先までご連絡ください。後日郵送でお送りします。

4 寄付の流れ（※上記2寄付の方法(1)の例）



- ① 寄付申込書の提出（郵送でもFAXでも構いません）
- ② 納付書の送付（①の到着後金融機関で振込）
- ③ 振込確認後、受領書・礼状を送付いたします。
- ④ 区報掲載（掲載月は不定期です。ご了承ください。）

5 税金の寄付金控除

地域力応援基金へのご寄付は、(1) 所得税、(2) 個人住民税、(3) 法人税 の控除対象等になります。※詳しくは下記にお問合せください。

区民部課税課（区役所4階南側）大森地区：5744-1194 調布地区：5744-1195 蒲田地区：5744-1196

【法人の場合】

(3) 法人税・・・地方公共団体への寄附金は、支払った金額全額損金に算入されます。

※詳しくは、国税庁のホームページ等でご確認ください。



6 「地域力応援基金助成事業」の種類

種類	1事業あたりの助成金額	対象事業
スタートアップ助成	10～40万円 (総額 300万円)	区民活動団体の提案する事業 (所定の11分野から選択)
ステップアップ助成	50～300万円 (総額 1,500万円)	区民活動団体の提案する事業 (所定の11分野から選択)
ジャンプアップ助成	400万円まで (総額 400万円)	区の提示する事業 (毎年募集時期に発表)

7 「地域力応援基金助成事業」の対象分野

皆様からのご寄付は、地域力応援基金助成事業により以下の11分野で活用しております。

	活動分野
1	高齢者や障がい者の地域生活の支援を行う活動
2	子育ての充実を図る活動
3	地域医療との連携を図る活動
4	社会教育又は、スポーツの推進を図る活動
5	まちづくり又は、観光の推進を図る活動
6	環境の保全を図る活動
7	文化又は、芸術又は、国際化の推進を図る活動
8	防災又は、地域安全又は、消費者の保護を図る活動
9	人権擁護又は、男女共同参画社会形成の促進を図る活動
10	子どもの健全育成を図る活動
11	その他公益性があり、広く地域貢献につながる活動

8 問合せ先 (ご不明な点がございましたらご遠慮なくお問合せください)

大田区 地域力推進課 区民協働担当 電話：5744-1204
(〒144-8621 大田区蒲田5-13-14 大田区役所6階南側)